

平成 28 年度第 1 回総合教育会議 資料

**いわて県民計画第 3 期アクションプランを踏まえた
平成 28 年度の教育委員会の重点施策について**

平成 28 年 5 月 16 日

教育委員会事務局教育企画室

平成28年度 岩手県教育委員会 経営計画（概要版）

県教育委員会では、本年を「本格復興完遂年」と位置付けた県の取組と軌を一にして、学びの場の復興に全力で取り組むとともに、「いわて県民計画」第3期アクションプランに基づき、「知・徳・体」を備え調和のとれた人間形成という教育目的の実現に向けて、中長期的展望に立ち、時代のニーズに的確に対応しながら、学校教育、社会教育、生涯学習、文化芸術、スポーツの振興を図っていきます。

本年度は特に、児童生徒一人ひとりに向き合い寄り添う学校教育の充実と切れ目のない学びの保障を実現するため、学力向上対策やいじめの防止、早期発見・早期対応に向けた取組の徹底を行うとともに、新たな県立高等学校再編計画を踏まえた教育環境整備の推進に重点的に取り組みます。また、希望郷いわて国体における目標達成に向け、関係機関等と一体となった取組を推進します。

◆東日本大震災津波からの教育の復興

I きめ細かな学校教育の実践と教育環境の整備・充実

○ 「いわての復興教育」の推進

(1) 「いわての復興教育」の推進 3つの教育的価値(「いきる」「かかわる」「そなえる」)を育てる各学校の取組を支援。復興教育副読本を効果的に活用した教育活動の推進。

(2) 実践的な防災教育の推進 高校生に対する避難所運営体験等の防災学習の実施。学校の防災体制の確立と児童生徒の防災意識の向上に向けた取組の支援。関係部局と連携した防災訓練の実施。学校への防災アドバイザーの派遣。

○ 幼児児童生徒の心のサポートの充実

- ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置等による心のサポート体制の充実。
- ・「心とからだの健康観察」結果の分析。「こころのファイル」の作成・活用等による中長期にわたる支援。

○ 児童生徒の安全で安心な教育環境の確保

(1) 被災した学校施設の復旧整備 高田高校の艇庫、講義棟及びグラウンド等の整備。市町村立学校施設の復旧整備を支援。「いわての学び希望基金」を活用した、沿岸部の高校の産業教育設備等の整備。

(2) 学校における放射線対策 空間線量率の定期測定と必要に応じた土壌等の除染。給食食材等の放射性物質濃度を測定。

(3) 被災により親や生活基盤を失った児童生徒への支援 「いわての学び希望基金」を活用した、奨学金の給付、教科書・制服・修学旅行経費の支援。

(4) 被災児童生徒の心のサポート及び学習支援等のための加配教職員の配置 心のサポートや学習の遅れ等へ対応するため、加配教職員を配置。

(5) 教職員の健康管理 教職員の心と体のケアを支援。

(6) 特別支援学校における就職支援 沿岸部の特別支援学校における就職支援のため、職業指導支援員を配置。

(7) 児童生徒の学習支援等を行う居場所づくりの推進 放課後及び週末等における学習支援等を行う安心・安全な居場所づくり。

II 文化芸術環境の整備や伝統文化等の保存と継承

(1) 被災地における文化芸術活動の再興 被災した文化芸術施設の復旧・再開を支援。優れた文化芸術の鑑賞機会の提供。文化芸術活動の早期再興を支援。

(2) 復興に係る埋蔵文化財調査の推進及び市町村支援 国・県復興関連開発事業に伴う調査の推進及び市町村の調査を支援。

(3) 被災文化財の保存・管理支援 救出した文化財・美術品等の修復、保存・管理に対する支援。

(4) 被災児童生徒の文化活動の大会への参加支援 「いわての学び希望基金」を活用した、被災児童生徒の文化活動の大会参加を支援。

III 社会教育・生涯学習環境の整備

(1) 社会教育施設の復旧支援 被災した市町村の社会教育施設の復旧・再開を支援。

(2) 地域コミュニティの復興支援 地域住民による学習支援等の実施により、地域コミュニティの復興を支援。

(3) 復興に向けた学びの機会の充実 教育振興運動推進方針への復興教育の位置付け。学校教育との連携による運動の充実。地域住民を対象とした学びの機会の充実。

IV スポーツ・レクリエーション環境の整備

(1) スポーツ・レクリエーション環境の整備 スポーツ・レクリエーション活動の推進体制の整備等を支援。県立高田松原野外活動センターの代替施設の整備を推進。

(2) 被災生徒の運動部活動への支援 「いわての学び希望基金」を活用した、被災生徒の運動部活動の大会参加を支援。自校で運動部の活動が十分に行えない学校に対し、練習場所への移動経費を支援。

◆「いわて県民計画」第3期アクションプランの着実な推進

【教育推進に関する諸計画の一体的な推進】

H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31…
	いわて県民計画 (H21.12)										
	第1期アクションプラン		第2期アクションプラン				第3期アクションプラン				
	岩手県東日本大震災津波復興計画 (H23.8)										
	復興実施計画(第1期：基盤復興期間)				復興実施計画(第2期：本格復興期間)			復興実施計画(第3期：更なる展開への連結期間)			
	岩手県ふるさと振興総合戦略 (H27.10) ----->										
	これからの岩手の義務教育 (H21.3) ----->										
	今後の高等学校教育の基本的方向 (H22.3) (H27.4改訂) ----->										
	新たな県立高等学校再編計画 (H28.3) ----->										
	いわてキャリア教育指針 (H22.3) ----->										
	いわて特別支援教育推進プラン (H25.1) ----->										
	岩手県子どもの読書活動推進計画(第3次) (H26.6) ----->										
	「いわての復興教育」プログラム (H24.2) (H25.2改訂) ----->										

I 学校教育の充実

「生きる力」を一人ひとりに確実に身に付けさせるとともに、子どもたち一人ひとりの個性や特性等にきめ細かく対応し、その能力の伸長に取り組みます。また、「新たな県立高等学校再編計画」に基づき、適切な教育環境の整備を進めます。

○ 児童生徒の学力向上

- (1) 国語・数学(算数)・英語の学力向上 諸調査の結果分析に基づいた授業改善。学校組織全体の取組に向けた助言・指導。国語・数学(算数)・英語を核とした学力向上の取組を推進。
- (2) 「わかる授業」の推進 明確な学習課題の提示、適切な学習活動の展開、効果的な学習の振り返りによる「わかる授業」の徹底。授業参観や校内研修の充実。
- (3) 家庭学習の充実 授業と連動した家庭学習の推進。教育振興運動との連携による家庭学習の充実。
- (4) 特色ある教育課程の編成 学校それぞれの実態と特色に合わせた教育課程の編成、教育活動の充実を支援。選挙権年齢の引き下げに対応する主権者教育の実施。
- (5) グローバル人材の育成 イングリッシュ・キャンプや海外派遣研修、スーパーグローバルハイスクールなどの取組の実施。
- (6) 少人数学級の推進 小学校1～4年生、及び中学校1年生で実施してきた35人以下学級を中学2年生に拡充。
- (7) 中学校における学校生活サポートの充実 学習面・生徒指導面の諸課題に対応するため、経験豊かな非常勤講師等を配置。

○ キャリア教育の充実

- (1) 発達段階に応じたキャリア教育の充実 「キャリア教育全体計画」等の作成。発達段階に応じた計画的・組織的なキャリア教育の実施。「総合生活力」、「人生設計力」の育成。
- (2) 社会への接続支援 進路希望の達成、人材育成に向けた各高等学校の取組の推進。産業界との協働による人材の育成。

○ 豊かな心を育む教育の推進

- (1) 道徳教育、体験活動・読書活動等の推進 道徳教育全体計画、年間指導計画の工夫・改善による道徳教育の充実。「特別の教科」として位置づけられた道徳の趣旨の徹底と授業の改善。学校教育の中へのボランティア活動等の位置付け。ホームルーム経営の充実。
- (2) いじめなどに対応した教育相談機能の充実 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置。学校心理士資格を有する教員の養成。
- (3) 関係機関等との連携によるいじめ防止等への取組の推進 「岩手県いじめ問題対策連絡協議会」等を通じた関係機関等との連携の強化。いじめの重大事案に対する機動的な対応。
- (4) 情報モラル教育の推進 スマートフォン等高機能情報端末を活用した情報モラル指導の工夫改善、啓発活動の実施。

○ 健やかな体を育む教育の推進

- (1) 体力向上や運動に親しむ環境づくり 体力・運動能力調査結果を踏まえた体力向上の取組を推進。「希望郷いわて 元気・体力アップ60運動」の推進。
- (2) 健康教育の充実 学校・家庭・関係機関の連携による望ましい生活習慣の確立や肥満防止の取組を推進。
- (3) 指導者の資質向上・授業力向上 研修会の開催や地域スポーツ指導者の派遣による授業力や運動部活動の指導力の向上。

○ 特別支援教育の充実

- (1) 就学前及び小・中・高等学校における特別支援教育の充実 幼稚園等への訪問相談や支援の実施。特別支援コーディネーター連絡会による支援体制の強化。「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」に基づく指導の充実。市町村等への支援体制の充実。
- (2) 特別支援学校における教育の充実 タブレット端末の活用による実践的・効果的な授業の展開。交流籍を活用した小・中学校の児童生徒との交流及び共同学習の推進。
- (3) 県民と協働した特別支援教育体制づくり 県民向けの講演会の開催。特別支援教育ボランティアの養成・活用。
- (4) 特別支援学校における就職支援 特別支援学校技能認定制度の研究開発。公的機関における現場実習の受入れの促進。企業との連携協議会の設置。就労サポーター制度の利用の促進。

V 業務推進の基本姿勢

- (1) 教育行政の推進機能充実 総合教育会議等を通じた知事との連携強化。教育委員会の審議の充実。
- (2) 市町村教育委員会との連携 市町村教育委員会との連携の強化。
- (3) 行動規範の確保 岩手県職員憲章等に則り、質の高い教育活動を推進。予兆を見逃さず自浄作用が発揮できる組織風土づくり。児童生徒との信頼関係の構築、体罰を絶対に起こさない組織風土づくり。
- (4) 学校現場でのOJTの推進 学校現場で蓄積されてきた知識・経験の共有。日常業務を通じた人材育成による取組を推進。
- (5) 現場支援としての事務局体制の強化 教育は学校現場・子どもが主役であることを基底とし、事務局の現場主義を一層徹底。

○ 家庭・地域との協働による学校経営の推進

- (1) 目標達成型の学校経営の推進 全教職員の参画による学校経営計画の策定。学校評価の実施。評価結果等の保護者や地域等への公表・報告の推進。学校経営の改善への支援。
- (2) 学校と家庭・地域との協働の推進 「まなびフェスト」と教育振興運動の目標の共有化、連携を推進。学校支援地域本部の推進による地域人材の学校の教育活動への参画を促進。
- (3) 学校経営における組織力の向上 主幹教諭の配置校の拡大や主幹教諭の活用による諸課題解決に向けた体制の整備。

○ 学校施設の整備

- (1) 県立学校施設の整備 千厩高校のグラウンド整備など学校施設設備の改修等の実施。盛岡となん支援学校の移転新築整備、花巻清風支援学校分教室の北上市への整備など特別支援学校の教室不足解消等を推進。盛岡となん支援学校移転後の空き校舎活用、釜石地域の教育環境整備に関する調整の実施。
- (2) 学校施設の耐震化 盛岡農業高校や久慈高校の改築推進。市町村立学校の耐震化を支援。

II 社会教育の充実と生涯を通じた学びの環境づくり

- (1) 教育振興運動の充実 教育振興運動の活性化による地域の教育課題解決に向けた自主的・実践的運動の推進。全県共通課題「情報メディアとの上手なつきあい方」の実践の充実。
- (2) 家庭教育支援の充実 孤立しがちな保護者と地域とを結び付け、地域全体で子育てを支援する体制づくり。
- (3) 子どもの読書活動の推進 「岩手県子どもの読書活動推進計画(第3次)」に基づく本に親しむ環境づくりの推進。学校教育との連携による「ブックリスト」を活用した読書活動の推進。
- (4) 放課後子ども総合プランの推進 地域の教育力の活用、保健福祉部との連携による放課後等の居場所づくりの推進。
- (5) 学習活動を支援する環境の充実 生涯学習情報の収集・提供及び研修機会の充実。地域の学びの場の拡充。高校生への就学支援金、奨学給付金の支給による保護者の経済的負担の軽減。
- (6) 社会教育施設におけるサービス向上 県立社会教育施設のサービス向上。市町村の社会教育事業への支援。

III 文化芸術の振興

- (1) 文化芸術活動の推進 文化振興基金を活用した芸術家派遣等への支援。文化芸術情報の発信と活動の継承と振興。
- (2) 世界遺産登録の推進 「平泉の文化遺産」の適切な保存管理と普及啓発。柳之御所遺跡の史跡公園の整備等拡張登録に向けた取組の推進。「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の登録に向けた関係自治体と連携した取組の推進。「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産委員会決議への適切な対応。
- (3) 文化財の保存と継承 文化財の指定、文化財の保存・管理の推進。



IV 豊かなスポーツライフの振興

- (1) 生涯スポーツの振興 スポーツ教室やイベントの開催等の充実。総合型地域スポーツクラブの創設・育成を支援。
- (2) 競技力向上のための取組強化 希望郷いわて国体の目標達成に向け、指導者の招へいや強豪チームとの練習試合の増など強化事業の拡充。入賞の可能性の高い競技・種別に重点を置いた選手の強化。スーパーキッズの発掘・育成など、中・長期的な視点に立ったジュニア育成環境の整備。
- (3) スポーツ医・科学サポートの推進 講習会等の実施による指導者の資質を向上。各競技団体へのアスレティックトレーナーの派遣。県全体の競技スポーツの強化や県民の健康づくり、体力向上の推進。
- (4) 希望郷いわて国体等と連動した文化・スポーツの発信 国体開催に合わせたスポーツ博覧会や芸術作品展示展を開催。

- (6) 組織横断的な業務推進 他部局やPTA等各種団体、市町村との連携と役割分担による課題解決に向けた取組の推進。
- (7) 業務の効率化及び質の向上 業務の改善・効率化の推進。教職員の負担軽減に向けた協議の実施。学校や教員が子どもと向き合う時間を確保、工夫ある教育活動を行うことのできる環境を整備。
- (8) PDCAサイクルを踏まえた経営計画の推進 的確な現状分析、達成状況の確認により必要な改善策を立案。
- (9) 「いわて県民計画」アクションプランの着実な推進 第3期アクションプラン構成事業の着実な推進と的確な政策評価の実施。
- (10) 事務局組織体制の整備 希望郷いわて国体後における望ましい事務局の組織体制のあり方を検討。

[平成 28 年度における重要課題] 児童生徒一人ひとりに向き合い、寄り添う学校教育の充実 ～切れ目のない学びの保障～

これからの岩手を担う児童生徒へのきめ細かな教育活動の充実 様々な教育課題 児童生徒一人ひとりの心のサインを見逃さない総合的な教育相談体制の構築

I 学力向上と質の保証 ■ 授業力の向上と学習環境の改善 ■ ICT活用による教育活動の充実 	II 安全・安心に学校に通える保障 ■ いじめの防止、早期発見・早期対応 ■ 心のサインを見逃さない相談体制の構築 	III 児童生徒と向き合う時間の保障 ■ 教員の児童生徒と向き合う時間の確保と質の向上 ■ 教員の多忙化解消と「チーム学校」の取組の推進 	IV 家庭の経済状況に左右されない学びの機会の保障 ■ 専門人材の活用と関係機関との連携強化による相談体制の充実 ■ 放課後や学び直し等の多様な学習支援の充実 ■ 就学支援の充実 
--	--	--	--

現状と課題

1 児童生徒の学力向上

【現状】

- ・全国学力・学習状況調査の結果から、特に中学校数学の学力が全国的に低位に位置しており、また、授業が分かると答えた生徒の割合も全国を下回っている。
- ・小6と中3の家庭学習時間1時間未満の割合を比較した場合、全国平均では中3になると減少しているのに対し本県では増加している。

【課題】

- ・中学校数学教員への指導・支援が不十分
- ・組織的に授業改善を推進するための学校体制の強化が必要
- ・授業改善の先進実践校における取組内容について、各学校への普及が不十分
- ・「家庭学習の習慣化」などの課題について、市町村教委との情報共有が不足

2 いじめ対策と児童生徒の心のサポート

【現状】

- ・2年連続していじめを一因とする県内中学生の自殺事案が発生している。
- ・いじめを認知した場合における、学校全体での情報の共有の必要性が明らかとなっている。
- ・「心とからだの健康観察」（調査）によれば、被災体験等で心のサポートが必要な児童生徒が1割以上いる。

【課題】

- ・教員のいじめ認知の感度と初期対応が不十分
- ・学校の情報共有体制や学校、市町村教委のいじめ事案への対応力が不十分
- ・いじめなどの悩みを抱える児童生徒に対する総合的な教育相談体制づくり
- ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置不足と人材確保が困難

対応の方向性及び具体的な取組内容

1 児童生徒の学力向上

(1) 教員の教科指導力の向上

- ・数学・英語・国語の教科指導に課題を抱える中学校への指導主事訪問
- ・全県の中学校を対象にした数学・英語の教員研修の実施

(2) 学習状況調査等の結果を活用した学校組織全体での授業改善

- ・より活用しやすい分析データを提供し、各学校の「組織全体による授業改善」を促進
- ・「組織全体による授業改善」のためのカリキュラム・マネジメント研修の実施
- ・先進実践事例を普及するための協議会の開催

(3) 県教委と市町村教委の連携強化と学校・地域・家庭の一体的推進

- ・市町村教委と課題・取組方針の共有を図る連携会議の開催
- ・「家庭学習の習慣化」を推進するための家庭・保護者への啓発を促す教育振興運動との連携

(4) 少人数学級の拡充

- ・思春期を迎え不安定な年代における生徒指導上の諸課題や基礎学力の定着にきめ細かに対応するため、小1から小4、中1において実施してきた35人以下学級を中2に拡充

2 いじめ対策と児童生徒の心のサポート

(1) 教員研修による教員のいじめ認知の感度の向上や対応力強化

- ・教員研修の充実のため「いじめ防止講座」を単独実施
- ・全校種における教員研修の実施や各学校での校内研修実施の徹底

(2) 学校におけるいじめ対策の取組状況の実態把握と「いじめ問題解決支援チーム」の派遣

- ・各学校の「学校いじめ防止基本方針」に基づく取組状況に関する調査の実施や、解決困難事案を有する学校、市町村教委に対する指導主事や有識者の派遣

(3) 総合的な教育相談体制の構築

- ・「心とからだの健康観察」集計結果を分析、その結果を教育関係機関と共有することで、各学校における早期フォローアップを徹底し、問題行動等の未然防止に活用

(4) スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの人材確保

- ・関係団体との連携強化によるスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーを担う有資格者の人材確保
- ・教員OB等を有資格者に準ずる者として任用、教員を学校心理士として養成

(5) 少人数学級の拡充(再掲)

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会に向けた取組


	現状と課題	対応の方向性	具体的取組内容																																											
選手強化の取組	【現 状】 第 70 回国民体育大会紀の国わかやま国体結果 ○天皇杯（男女総合）成績	【目 標】 第 71 回国民体育大会 2016 希望郷いわて国体	【平成 28 年度選手強化方針】 1 組織の拡充・強化 ・ 各競技団体、県体育協会、関係者の総力を結集し、「チームいわて」で選手強化を強力に推進 ・ 競技、種別ごとの事業計画の進行管理（PDCA）を毎月実施し、強化事業を適切に推進 2 指導体制の確立 ・ 指導者の所属の理解と協力の下、強化事業への参加回数を大幅に増加 ・ 優秀指導者の招聘回数を大幅に増加 3 選手の育成・強化 ・ 選手の所属の理解と協力の下、平日練習、週末の合宿、遠征を大幅に増加 ・ 他県チームの情報収集・分析による戦略の構築 ・ 「地の利」を活かすための国体会場施設での練習増 4 スポーツ医・科学サポート体制の整備・拡充 ・ メンタル強化を含めたトレーナーのサポート強化 ・ 違反ゼロを目指したアンチ・ドーピングの取組強化																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>岩手県</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28 冬季</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>順位</td> <td>37 位</td> <td>16 位</td> <td>4 位</td> </tr> <tr> <td>得 点</td> <td>807.5</td> <td>1,099</td> <td>178</td> </tr> <tr> <td>成 年</td> <td>181</td> <td>352</td> <td>101</td> </tr> <tr> <td>少 年</td> <td>226.5</td> <td>347</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>参加点</td> <td>400</td> <td>400</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>	岩手県		H26	H27	H28 冬季	順位	37 位	16 位	4 位	得 点	807.5	1,099	178	成 年	181	352	101	少 年	226.5	347	47	参加点	400	400	30	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>天皇杯順位</td> <td>8 位以内</td> </tr> <tr> <td>天皇杯得点</td> <td>1,550 点以上</td> </tr> <tr> <td>40 競技団体の目標点合計</td> <td>2,820 点</td> </tr> </tbody> </table>	天皇杯順位	8 位以内	天皇杯得点	1,550 点以上	40 競技団体の目標点合計	2,820 点													
	岩手県	H26		H27	H28 冬季																																									
	順位	37 位		16 位	4 位																																									
得 点	807.5	1,099	178																																											
成 年	181	352	101																																											
少 年	226.5	347	47																																											
参加点	400	400	30																																											
天皇杯順位	8 位以内																																													
天皇杯得点	1,550 点以上																																													
40 競技団体の目標点合計	2,820 点																																													
	参考：過去 2 大会の天皇杯順位と得点 <table border="1"> <thead> <tr> <th>順位</th> <th colspan="2">70 回和歌山国体</th> <th colspan="2">69 回長崎国体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>和歌山</td> <td>2,257.0</td> <td>長崎</td> <td>2,364.0</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>東京</td> <td>2,052.5</td> <td>東京</td> <td>2,113.5</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>愛知</td> <td>1,977.5</td> <td>愛知</td> <td>1,886.5</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>埼玉</td> <td>1,904.5</td> <td>大阪</td> <td>1,807.5</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>大阪</td> <td>1,806.5</td> <td>埼玉</td> <td>1,702.5</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>神奈川</td> <td>1,626.0</td> <td>神奈川</td> <td>1,649.5</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>千葉</td> <td>1,528.5</td> <td>福岡</td> <td>1,509.5</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>福岡</td> <td>1,519.5</td> <td>北海道</td> <td>1,484.5</td> </tr> </tbody> </table>	順位	70 回和歌山国体		69 回長崎国体		1	和歌山	2,257.0	長崎	2,364.0	2	東京	2,052.5	東京	2,113.5	3	愛知	1,977.5	愛知	1,886.5	4	埼玉	1,904.5	大阪	1,807.5	5	大阪	1,806.5	埼玉	1,702.5	6	神奈川	1,626.0	神奈川	1,649.5	7	千葉	1,528.5	福岡	1,509.5	8	福岡	1,519.5	北海道	1,484.5
順位	70 回和歌山国体		69 回長崎国体																																											
1	和歌山	2,257.0	長崎	2,364.0																																										
2	東京	2,052.5	東京	2,113.5																																										
3	愛知	1,977.5	愛知	1,886.5																																										
4	埼玉	1,904.5	大阪	1,807.5																																										
5	大阪	1,806.5	埼玉	1,702.5																																										
6	神奈川	1,626.0	神奈川	1,649.5																																										
7	千葉	1,528.5	福岡	1,509.5																																										
8	福岡	1,519.5	北海道	1,484.5																																										

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会開催に合わせ、教育やスポーツ、文化芸術面での盛り上げりを醸成するための教育委員会の取組

国体文化プログラム事業

《県立博物館における国体文化プログラム》


- スポーツ博覧会いわての開催
 - ・ 前回国体の開催や、岩手出身スポーツ選手の活躍に関する展示など
 - ・ 博覧会の週末イベントとして、ニュースポーツ体験や岩手県出身アスリートによる展示解説会の開催を予定)
- 秩父宮記念スポーツ博物館巡回展の開催
 - ・ オリンピックメダルをはじめ、各種国際大会で使用されたユニフォームなどを展示



国体・大会プラス事業

《県立美術館における国体・大会プラスの取組》

- 岩手の現代美術家たち（仮称）
 - ・ 岩手県出身、在住の作家等の作品を展示
- 障がい者アートギャラリー（仮称）
 - ・ 県内の障がい者が制作した絵画等の作品を展示



《国体等プレイベントとしての「いわて教育の日」のつどい》

- いわて教育の日のつどいを、希望郷いわて国体・希望郷いわて大会のプレイベントとして位置付け、開催プログラムの一つとして、国体・大会開催直前の機運醸成を図るためのシンポジウム等を開催

国体・大会を盛り上げる取組